

Title	在中国日系家電メーカーの経営戦略の考察
Sub Title	
Author	陶琳(Tau, Rin) 鈴木貞彦
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1999
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1999年度経営学 第1517号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1517">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1517</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	鈴木 研究会	学籍番号	89828486	氏名	陶 琳
(論文題名)					
在中国日系家電メーカーの経営戦略の考察					
(内容の要旨)					
<p>本論文は、現在の中国市場において日系家電メーカーが激しい価格戦争、サービス戦争に晒され、収益性に大きな打撃を被っているという状況を受け、その原因として在中国日系家電メーカーの経営戦略に何らかの問題が存在するのではないか、という問題意識から、各社の経営戦略について比較検討し考察したものである。</p> <p>最初に、中国家電市場でシェアを獲得し利益をあげる為の要因とは何であろうか、ということについて分析した。文献研究を通じ、その要因とは大きく分けて「戦略」、「運営」、および「投資方法」であると考えられた。そして、これらの側面をそれぞれ細かく分けると六つの変数が考えられる。つまり、「製品政策」、「販売活動」、「サービス」、「販売業務の権限委譲」、「購買業務の権限委譲」および「多段階投資」である。これらの変数についてそれぞれ仮説の構築を行なった。</p> <p>次に、各々の仮説の検討がケーススタディを通じて行なった。販売業務、購買業務の権限委譲という二つの仮説については、すべての会社が権限委譲されていないと思われるため、有意義な検討を行なうことができなかったが、それ以外の仮説の検討からは有意義な結果を得ることができた。</p> <p>さらに、これらの仮説検討の結果に基づいて、すでに中国でビジネスを行なっている日系家電メーカー、および今後新規中国ビジネスを開始しようとする日系家電メーカーに提言を行なった。</p>					